

No.	章節	ページ	ご意見・ご質問	回答
1	3章	-	「講義補助資料」「改定書籍」がモノクロ印刷となり、グラフの凡例が読み取れないものが多くあります。特に材料種別毎の内訳が分かる積上げグラフ、100%比率グラフはとて参考になる情報であるためカラー版の資料を頂けると助かります。	ご意見ありがとうございました。多くのデータは、エクセルデータの中において元のデータを公開しております。ご指摘の材料種類ごとのグラフは、AIJ-LCA原単位データベースの「建築物（投入構成）」および「建築物（投入要素別）」シートに記載されております。これらをご確認いただけますと幸いです。 (回答：2024.03.22)
2	5章	111	第5章参考文献についてご教示下さい。参考文献6)は2冊の資料が併記されています。 ① 本文中の引用箇所が見つけれませんでした。 ② 2冊の資料の数値の比較、評価の上で（どちらかの）数値を採用されているのでしょうか？ ③ 2冊のうち「建築物のライフサイクルコスト」は、平成31年版、令和5年版が「ビルディングLCビジネス百科」は後継の「建築物のライフサイクルマネジメント用データ集」が2020年に発行されています。これらのアップデートの要否が（委員会で）議論されているようでしたら、内容を教えて頂ければ幸いです。	参考文献6)について記載の不備がありまして、お詫びします。 いずれの文献も更新修繕の周期や比率の考え方を参考にしております。しかしながら、前回の改定から設定値等を変更を加えておらず、現状の建築保全センターやBELCAから出版されているデータの部材の分類・更新修繕周期等にいずれにも連携しておりません。委員の独自の試算例をもとに委員会内で更新修繕の重要性や精度向上は議論しておりますが、現段階では建築保全センターやBELCAのデータベースに追従する形でAIJ-LCAツールを改良して公開することは計画しておりません。 (回答：2024.03.22)
3	8章	141	講習会および指針で、木材関連製品で（表8.2.8で）新しく追加した原単位があるのですがこれはAIJ-LCAツール（一般建築版）_ver.6.00 の中ではどこかに反映されているのでしょうか？ また、表8.2.8の作成方法に関する参考文献や記述がないようですが、何かご紹介可能な文献等ございましたでしょうか？	こちらは、あくまで参考例として示した表であり、AIJ-LCAツールやDBには反映されておりません。 また作成方法に関する文献ですが、文献21（建築物のLCAにおける評価精度の検討,2015.1）に記載の内容です。 (回答：2024.05.08)
4	全般	-	LCAの検討において、工数削減に伴う、GHG排出量の削減量を見積ろうとしており、例えば、施工作业（工員の肉体労働）に関連する排出量原単位の情報や検討方法はあるのでしょうか。	建物のLCA指針関係で公表している内容（ツールや原単位も含む）では、当該内容は考慮しておりません。 (回答：2024.05.08)

5	ツール	-	<p>最近Ver.6.01が配布されましたが、以前までのVer.4.04と押出セメント成形板 60tの原単位が大きく異なっています。詳細を確認すると、以下のように、ちがう資材データベース行部門を採用しておりました。</p> <p>【Ver.4.04】 「4.2-43 押出セメント成形板 60t」 資材データベース：2521011 セメント (国内平均) 環境負荷原単位：77.062kg-CO2/千円</p> <p>【Ver.6.01】 「4.2-43 押出セメント成形板 60t」 資材データベース：2523011 セメント製品 環境負荷原単位：6.946kg-CO2/千円</p> <p>セメント(国内平均) からセメント製品へ変更に至った経緯をお教えいただけないでしょうか。</p>	<p>ご質問の件ですが、今回の改定において、以前のバージョンの連鎖先は不適當で排出量が過剰になっていることが判明したため、連鎖先の見直しを実施し、より適切と思われる原単位に連鎖しなおしました。</p> <p>なお、デフォルトで格納されている複合原単位は、あくまで参考値として公表するものなので、もし評価の目的に照らしてより適切と考える連鎖先があれば、ユーザにおいて変更してご利用ください。</p> <p>(回答：2024.05.08)</p>
---	-----	---	--	---

